

東京ガス通信 2007 春夏号

エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS



創造と開拓。



2010年代を見据えた長期戦略の
重要なステップである

『2006～2010年度グループ中期経営計画』。

いよいよ2年目を迎え、「天然ガス新市場の創造と開拓」に
向けた取り組みを加速させています。

今後の展望を代表取締役社長 鳥原光憲に聞きました。

東京ガス株式会社
代表取締役社長

とりはら みつりのり
鳥原 光憲

『中期経営計画』2年目に向けて、 初年度である2006年度の成果について

2006年度のガス販売量は夏場の低気温および暖冬の影響による減少があったものの、天然ガスの環境性と他燃料に比した価格競争力が追い風となって新規・既存お客さまの需要を開拓することができ、歴代最高となりました。収支面では、売上高1兆3,769億

円、当期純利益1,006億円と過去最高を記録いたしました。また、2006年度以降の配当を1株1円増配の年間8.0円とし、2007年度自社株取得枠を390億円(6千万株)と予定することで、中期経営計画期間中の株主さまへの配分目標である総分配性向を60.1%にする考えです。(※詳しくはP.10下段の枠内をご覧ください。)

一方、中期経営計画策定時点から経営環境には大

きく2つの変化がありました。1つは電化攻勢が非常に高まり、お客さまのオール電化に対する認知度はさらに上がって電気との競争が一層厳しくなっていること、2つ目は、湯沸器のCO中毒事故をはじめ、ガスの安全性への信頼を損なうような事故が続いたことです。

これらを受けて、当社は年度途中で政策の総点検を行い、さらなるコスト削減に努める一方で、電化対抗戦略や安全対策の強化に必要な原資の追加投入を行い、環境の変化に対応した新しい施策を展開することにより、中期経営計画初年度の主要な計画を達成することができました。

ガスを安心してお使いいただくために、 3つの柱による安全強化策の徹底

「安心・安全・信頼」は当社のブランド価値のベースです。今般のガスにかかわる事故はメーカーの問題や使用上の問題もありますが、お客さまに安全に安心してガスを使っただけのよう最大限努力することは、我々ガス事業者の社会的責任だと考えています。



そこで東京ガスでは、**ガス設備の特別点検巡回、安全な機器への取替え促進**、さまざまな業務機会を通じた**お客さまへの安全使用上の注意喚起**、という3つの柱による安全強化対策に取り組んでいます。

『創造と開拓』をテーマに掲げる、 2007年度への意気込み

今年度中にはお客さま件数が東京ガス単体で1,000万件に到達する予定であり、これは当社の120年余の長い歴史の中でも非常に意義のある重要な出来事だと思います。しかし、あくまでもこの1,000万件達成は東京ガスの持続的な発展における一つの通過点であるとも考えています。

中期経営計画の5年間は、2010年代を見据えた長期戦略の重要なステップという位置づけです。そして総合エネルギー事業の推進により「天然ガス新市場の創造と開拓」を図り、将来にわたる東京ガスグループの持続的な成長を目指すために重要な年でもあります。2007年度は原油価格の高止まりに伴うLNG価格上昇、電化攻勢の激化、そしてガス市場の自由化拡大などに適切に対応しながら、LNGバリューチェーンの拡充をはじめとして、地域密着型営業体制の再構築と地域エネルギー新社構想の具現化、製造・輸送・消費の各段階における保安対策強化、これらをベースとしたお客さまとの親密な関係づくりに全力を注いで取り組んでいきたいと思っております。

不変の安全。

『お客さまの安全に万全を期し、
安心してガスをご使用いただくこと』
東京ガスの不変のテーマです。

2006年度にガス業界に起きた事故を真摯に受け止め、
当社は、日々の安全を守る活動をさらに強化しています。

安全な原料

東京ガスが供給する都市ガスの原料はクリーンな天然ガス。有害なCO（一酸化炭素）は一切含まれていません。

耐震性にも優れたガス管

ガス導管のほとんどは、地面の下に埋設されています。そこで、強度や柔軟性に優れ、阪神・淡路大震災でもその高い耐震性が確認されている溶接接合鋼管およびポリエチレン管を使用しています。



ポリエチレン管

2006年度のガス業界での事故を受けて

経年管対策の早期完了に向けて、 保安対策を強化

北海道北見市で2007年1月に起きたガス漏洩事故を受けて、東京ガスでは経年導管に対する保安対策を一層加速させています。道路下に埋設されている「ねずみ鋳鉄管」のうち、対策が必要な経年導管について、対策完了時期を更に5年前倒しし、2015年度までに完了させます。また、3年に1度の法定検査に加え、自主的な漏洩調査を1年に1回実施していきます。



漏洩検査の様子

安全機器への「取替促進キャンペーン」を実施中

パロマ工業(株)製、リンナイ(株)製の瞬間湯沸器による一酸化炭素中毒事故の再発防止策のひとつとして、当社では2007年1月からの約3年間で最大100億円をかけて不完全燃焼防止装置が装備されていない湯沸器・風呂釜の「取替促進キャンペーン」を実施しています。また、2007年4月から安全点検の作業員を順次増員するとともに、作業内容の充実をはかることによって、お客さまとのコミュニケーション活動をさらに強化していきます。

当社の日々の活動をご紹介します

日々の安全を守る人・・・建物のガス設備の“医者”でありたい

官庁・ホテル・デパート・空港・地下街など、社会的影響度が高い建物の保安の維持・向上を行う大規模ガス設備総合定期点検。お客さまの日々の活動を妨げずにガス設備のすべてを把握し、診断を行うため、昼夜を問わず点検を実施しています。詳細に配管や機器の点検を行うことで、ガス設備に不具合が生じる前にお客さまにお知らせし、問題があれば改善を提案。お客さまにガスを安全にご使用いただくことで、信頼に添えていきます。



地下の配管を綿密に点検



建物の大本のバルブを閉めて
点検を行います

200km圏へ。

2006～2010年度 東京ガスグループ中期経営計画レビュー



LNG 当社工場 当社高圧幹線 当社グループ 卸・再卸供給先ガス事業者

天然ガス新市場の創造と開拓

当社は、環境性、経済性に優れた天然ガスの豊富な潜在需要を獲得するため、その商圈を「関東200km圏」へと広域展開するための営業体制とインフラの整備を進めています。都市ガス・LNG・LPG・電力などの「マルチエネルギー供給」と、「エネルギーサービス」により、ワンストップで最適なエネルギーソリューションを提供することで、総合エネルギー事業のトップランナーへと邁進しています。天然ガス新市場の創造と開拓への積極的な取り組みを通して、エネルギー分野における幅広い収益基盤を持つ事業構造を確立。お客さま価値の向上、地域社会の発展、地球環境改善に貢献し、持続的に成長する企業グループを目指します。

総合エネルギー事業のマーケット拡大を目指して

●広域需要開拓のための基盤整備

関東圏におけるさらなる需要を獲得するために、供給ネットワークを拡大。今年完成した南富士幹線をはじめ、2010年には臨海部工場地帯での旺盛な需要が見込まれている千葉～鹿島ラインが完成予定。多くのお客さまのニーズにお応えしていきます。

●サテライト基地・LNGローリーによる供給

さらなる天然ガスの供給拡大へ向け、パイプラインから離れた地域へはローリー車でLNGを運搬。総和サテライト（2006年完成）に続き、2007年7月に完成する日立勝田サテライトでは、ローリー車で運んだLNGを気化し、周辺のお客さまに供給していきます。

南富士幹線が完成

静岡ガス、帝国石油、東京ガスの3社による事業会社「南富士パイプライン株式会社」により、2006年12月22日天然ガス輸送パイプライン「南富士幹線」が完成。2007年1月から供給を開始しました。南富士幹線は、静岡県富士市から御殿場市までの延長約31kmの高圧幹線で、富士市で静岡ガスの「第二駿河幹線」（静岡市～富士市）と、御殿場市で帝国石油の「静岡ライン」（山梨県中巨摩郡昭和町～御殿場市）とそれぞれ接続され、将来的には東京ガスのパイプライン網とも連結される計画です。この結果、各社が持つ天然ガスインフラ:LNG基地・国内ガス田・輸送パイプライン等が有機的に結合し、天然ガスが広域的に流れるネットワークが形成されます。東京ガスでは既存ネットワークと連絡することにより、需要増への対応、供給能力・供給安定性のさらなる向上を図ります。



東京ミッドタウンでのエネルギー供給事業

2007年3月、六本木に『日本の新しい価値を世界へ発信する街』をめざす“東京ミッドタウン”がオープン。外見の美しさにも六本木エリアへの気配りを忘れず、環境への配慮にも、最新のシステムがしっかりと組み込まれています。その一つとして、ガスで発電し、その際に出る廃熱を回収して冷暖房や給湯などに利用する、当社のコジェネレーション設備をご採用いただいています。話題のホテル、オフィス、商業ゾーン、文化施設にガスで作られた電気、給湯、冷暖房をお届けし、快適で豊かな営みを支えるお手伝いをしています。



東京ガスの体験学習型「マンションリフォームラボ横浜」リニューアルオープン!

マンションリフォームのポイントを分かりやすくご紹介し、納得のいくリフォームを実現していただくための体験学習型施設です。リニューアルで床暖房・ミストサウナの体験コーナーや、ピピッとコンロとIHコンロの比較実演コーナーを新設。さらにガスのある暮らしの便利さ快適さを、見て触れてご納得いただける内容になりました。皆さま、是非お越しください!



寝そべることもできる床暖房体験



「ピピッとコンロ」VS「IHコンロ」調理実演

〒224-0032 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央16-18 東京ガス都筑ビル2F(横浜市営地下鉄 センター南駅下車 徒歩5分)
お問い合わせ:0120-516-332 月曜日～土曜日 10:00～17:00 休館日:日曜・祝祭日・年末年始

江上栄子さんの、
ガスでつくる“幸せクッキング”

ステーキと夏野菜の
おろし漬け

夏へ、 元気を蓄える。

おいしい料理を食べると、元気が出てきます。元気になると、
幸せな気分になれます。江上栄子さんの、ガスでつくる“幸せクッキング”。
活動的な夏を前に、自然にパワーがついてくる季節の料理のご紹介です。



そら豆とイカの
さっぱり炒め



江上料理学院 院長

江上栄子(えがみえいこ)さん

佐賀県有田焼の窯元「香蘭社」の深川家出身。
青山学院大学英文科卒業。あたたかな笑顔と優しい語り口でテレビ・講演・雑誌などで幅広く活躍。全国料理学校協会理事、フランスチーズ鑑評騎士の会理事長。フランス農事功労賞 シュバリエを受勲。ポマールワインの騎士号を持つ。

ステーキと季節の野菜の組合せ。
大根おろしのさわやかさが食欲をそそります。

作りおきのできる ステーキと夏野菜のおろし漬け

【材料】(2人分)

牛ロース肉(1.5cm厚) …400g	オクラ …… 8~10本
「みりん …… 大さじ1~1.5杯	大根 …… 300g
a しょうゆ …… 大さじ1~1.5杯	揚げ油 …… 適量
「粉山椒 …… 少々	出汁 …… 1カップ
なす …… 3本	しょうゆ …… 大さじ2.5~3杯
ピーマン(赤) …1/2個	みりん …… 大さじ1~1.5杯
ピーマン(黄) …1/2個	b 砂糖 …… 大さじ1杯

【作り方】

- ① 牛肉は片面に1cm間隔で格子に切り込みを入れて**a**で下味をつける。
- ② 牛肉の汁気を軽くふきとり、ステーキ鍋でメディアムに焼き、ココロに切る。
- ③ なすは乱切りにし、アクを抜く。ピーマンは種をとり2cm角位に切る。オクラは塩もみし、洗って水気を拭く。
- ④ **b**を合わせてひと煮立ちさせ冷ます。
- ⑤ 揚げ油をあたため、③の野菜を色よく揚げる。
- ⑥ ②と⑤を④の漬け汁に浸し、冷蔵庫で冷やす。
- ⑦ 大根は食卓に出す直前におろし、軽く水気をきってから⑥に加える。



野菜を色よく揚げる



おろしを加える

そら豆は夏が旬の食材です。
イカと合わせて、さっぱりした食感が楽しい。

そら豆とイカのさっぱり炒め

【材料】(2人分)

「酒 …… 大さじ1/2杯	「スープ …… 2/3カップ
そら豆(さや入り) …… 1kg	a 塩 …… 少々
ミニキャロット …… 4本	b 酒 …… 大さじ1杯
「生姜汁 …… 小さじ1杯	「塩 …… 適量
長ねぎ …… 1/3本	油
イカ …… 150g	c 片栗粉 …… 小さじ2杯(水小さじ4杯で溶く)

【作り方】

- ① そら豆はさやから出し、豆の皮もむく。ミニキャロットは皮を除き、斜め2つに切る。
- ② 長ねぎはみじん切りにする。
- ③ イカは皮をむいて、5~6mm厚さのそぎ切り。または、唐草切りにする。
aの酒、塩、生姜汁をまぶしつけてしばらくおく。
- ④ **b**の調味料を合わせる。
- ⑤ **c**で水溶きの片栗粉をつくる。
- ⑥ 中華鍋をあたため、油大さじ2杯をとり、③のイカを入れて強火で炒め、ザルにとって油を切る。
- ⑦ 中華鍋に油大さじ2杯をとり、弱火で長ねぎのみじんと①のそら豆とミニキャロットを焦がさないように炒め、④の合わせ調味料を入れ弱火で火を通す。そら豆がやわらかくなり、煮汁が少しになったら⑥のイカを入れ、味をととのえて⑤の水溶き片栗粉でとろみをつけ、器に盛る。



イカを強火で炒める



水溶き片栗粉を入れる

ピピッとコンロ 機能紹介

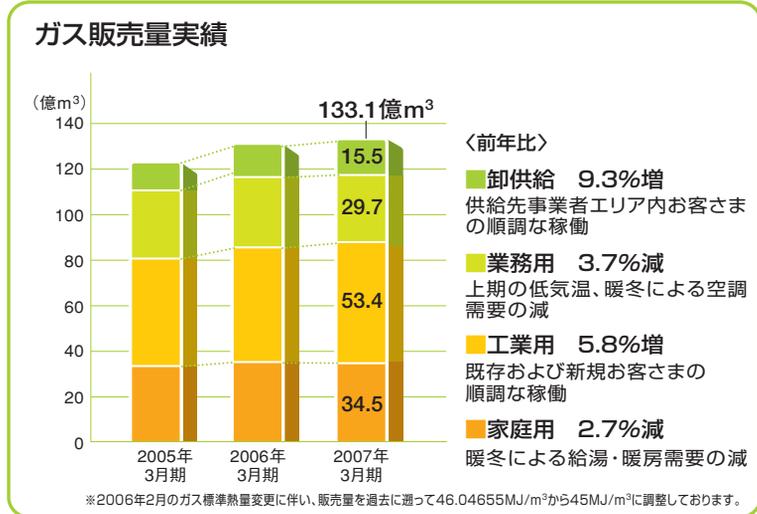
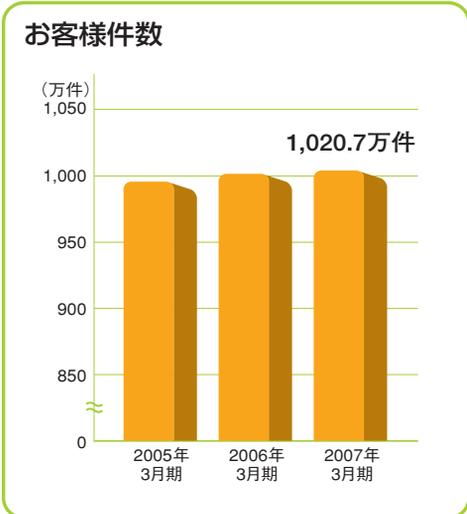
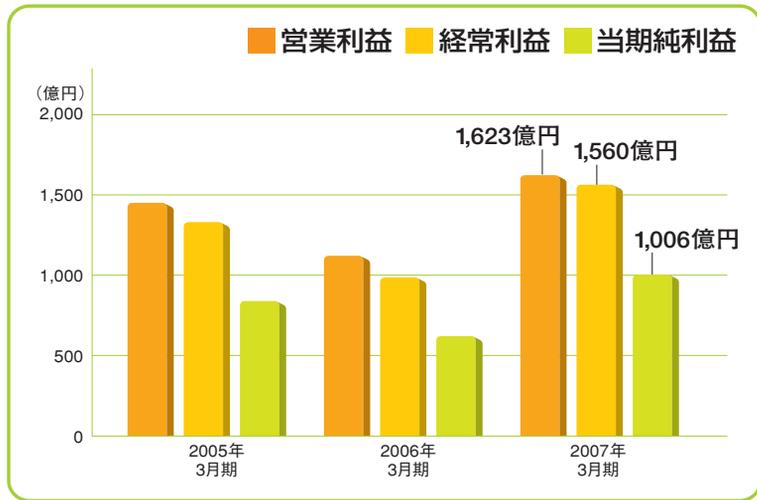
お料理を、もっと上手に
もっと楽しく。



揚げものも、おまかせ!

ピピッとコンロなら、コンロ前面の操作パネルで、簡単に美味しくをかなえる、調理の自動設定が可能。「油温度調節機能」を使えば火加減を自動調節し、鍋底を適温に保ってくれるので、揚げものにも失敗がありません。他にも「調理タイマー」「沸騰自動消火」「炊飯機能」など、お料理上手の機能が満載。安心して使えるお料理のベストパートナーです。

2007年3月期 業績ハイライト (連結)



●2006年度(2007年 3月期)決算のポイント

当期の事業環境は原油価格の高騰が長期化の様相を呈し、ガス需要の多い冬場に高気温が続くなど当社グループにとって厳しいものでしたが、2005年度下期および2006年度上期の原油価格高騰を反映した原料費調整制度に基づく料金単価の上昇、工業用を中心としたガス販売量の増加等により、連結売上高は前期比8.7%増の1兆3,769億円となりました。一方、退職手当数理計算上の差異により諸給与は減少したものの、ガスの原材料費が原油価格高

騰及び販売量増に伴い増加したこと等により、営業費用は増加しました。この結果、営業利益は同44.5%増の1,623億円、経常利益は同58.1%増の1,560億円、当期純利益は同62.1%増の1,006億円といずれも過去最高となりました。

ガス販売量につきましては、家庭用・商業用において暖冬による給湯・空調需要の減少があったものの、工業用・卸供給用の既存および新規お客さまの順調な稼働により前期比1.7%増の133.1億m³となりました。

2006年度の株主配分：総分配性向60.1%

8.0円／株への増配と自社株取得予定額390億円

当社は1株当たりの価値を高めることができる自社株取得も株主還元策の一つと位置づけ、配当と自社株取得をあわせた指標である総分配性向60%を現中期経営計画期間中における株主さまへの配分目標としています。

この考え方にに基づき、当社は2006年度の配当を

1株あたり年間7.0円から8.0円に1円増配し、2007年度の自社株取得枠を390億円(6千万株)と予定しております。

この結果、2006年度の総分配性向は60.1%となる見込みです。

$$2006年度の総分配性向 = \frac{2006年度配当総額 215億円 + 2007年度自社株取得予定額 390億円(6千万株)}{2006年度当期純利益 1,006億円} = 60.1\%$$

連結財務諸表のポイント

	当 期 2006.4～2007.3 (単位:百万円)	前 期 2005.4～2006.3 (単位:百万円)	増 減 (単位:百万円)	増減率	
売上高	1,376,958	1,266,501	+110,457	8.7%	2005年度下期および2006年度上期の原油価格高騰を反映した原料費調整制度に基づく料金単価の上昇、工業用を中心としたガス販売量の増加等により、ガス売上高が9.8%増と堅調な伸びになったことに加え、エネルギーサービス売上等が増加し、連結売上高は前期比8.7%増の1兆3,769億円となりました。
営業利益	162,315	112,345	+49,970	44.5%	費用は、更なるコストダウンの推進および退職手当の数理計算上の差異により諸給与が減少したものの、ガスの原材料費が原油価格高騰及び販売量増に伴い増加したこと等により増加しました。この結果、営業利益は前期比44.5%増の1,623億円となりました。
経常利益	156,039	98,689	+57,350	58.1%	経常利益は前期比58.1%増の1,560億円となりました。
当期純利益	100,699	62,114	+38,585	62.1%	当期は固定資産売却益78億円及び投資有価証券売却益58億円を特別利益に計上し、固定資産圧縮損72億円等を特別損失として計上した結果、当期純利益は前期比62.1%増の1,006億円となりました。

より詳細な財務情報をご希望の方は、東京ガスホームページ「IR情報」(http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/library/earn_j.html)に掲載している決算短信をご利用ください。

決算のご報告

	当 期 2006.4～2007.3 (単位:百万円)	前 期 2005.4～2006.3 (単位:百万円)	増 減 (単位:百万円)	
固定資産	1,371,576	1,391,882	-20,306	設備投資の増加を減価償却による資産の減少が上回り固定資産は203億円減少して1兆3,715億円となりました。
流動資産	321,058	302,016	+19,042	流動資産は売掛金の増加等により190億円増加し、3,210億円となりました。
固定負債・ 流動負債	886,589	955,411	-68,822	固定負債および流動負債については、退職給付引当金の減少および借入金の返済による減少等により、688億円減の8,865億円となりました。
純資産(注)	806,045	738,486	+67,559	配当金の支払いによる利益剰余金の減少があったものの、当期純利益の計上による利益剰余金増加等により、純資産は675億円増加し、8,060億円となりました。なお、自社株式取得については、第206回定時株主総会で決議した5,600万株を買付けしました。
総資産	1,692,635	1,693,898	-1,263	総資産は12億円減少し、1兆6,926億円となりました。

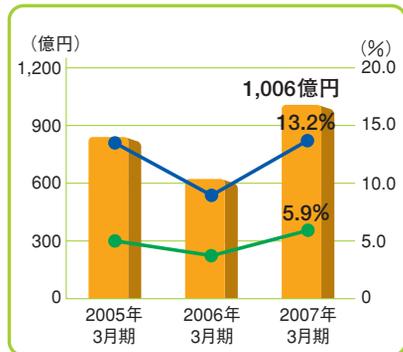
(注) 当期から、「少数株主持分」および「資本の部」が、「純資産の部」に変更されました。これにより、前期数値を「純資産」に組み替えて表示しています。

主な指標

決算のご報告

経営指標 (連結)

■ 当期純利益 ● ROA ● ROE



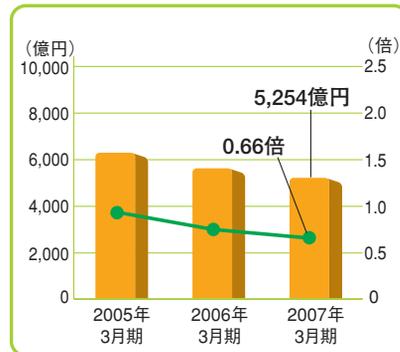
ROA=当期純利益÷期首・期末平均総資産×100
ROE=当期純利益÷期首・期末平均自己資本×100

■ 総資産 ■ 自己資本
● 自己資本比率



自己資本比率=自己資本÷総資産×100
*2006年3月期までの数値は当時の株主資本・株主資本比率を表示

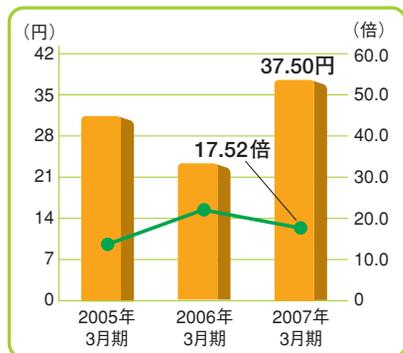
■ 有利子負債残高 ● デット・エクイティ・レシオ (D/Eレシオ)



デット・エクイティ・レシオ (D/Eレシオ)=有利子負債÷株主資本

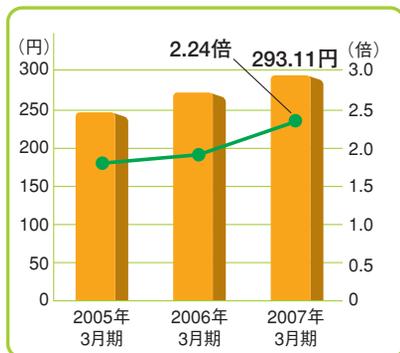
株式関連指標 (連結)

■ 1株当たり当期純利益 (EPS) ● 株価収益率 (PER)



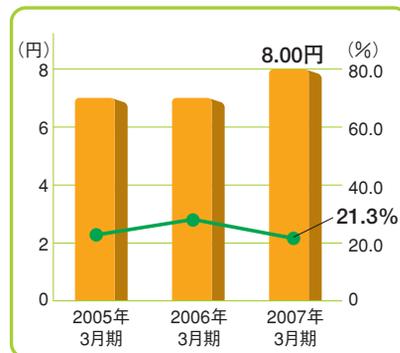
1株当たり当期純利益 (EPS)=当期純利益÷期中平均株式数
株価収益率 (PER)=期末株価÷EPS

■ 1株当たり純資産 (BPS) ● 株価純資産倍率 (PBR)



1株当たり純資産 (BPS)=自己資本÷期末株式数
株価純資産倍率 (PBR)=期末株価÷BPS
*2006年3月期までの数値は当時の株主資本で計算

■ 1株当たり配当金 ● 配当性向



配当性向=1株当たり配当金支払額÷1株当たり当期純利益×100

会社情報 (2007年3月31日現在)

会社名: 東京ガス株式会社
 設立: 1885 (明治18) 年10月1日
 本社所在地: 〒105-8527
 東京都港区海岸一丁目5番20号
 従業員数: 7,968名
 (注) 従業員数は常勤の就業人員数を記載しており、
 出向者および臨時従業員を含みません。
 格付け:
 AA+ (R&I: 格付投資情報センター)
 Aa1 (ムーディーズ)
 連結子会社: 52社
 持分法適用関連会社: 1社

取締役および監査役 (2007年6月28日現在)

取締役会長 市野紀生
 代表取締役社長 (兼 社長執行役員) 鳥原光憲
 代表取締役 (兼 副社長執行役員) 前田忠昭
 代表取締役 (兼 副社長執行役員) 岡本毅
 取締役 (兼 常務執行役員) 杉山昌樹
 取締役 (兼 常務執行役員) 手塚俊夫
 取締役 (兼 常務執行役員) 村木茂
 取締役 (兼 常務執行役員) 蟹沢俊行
 社外取締役 山本一元
 社外取締役 本田勝彦
 社外取締役 稲田早苗
 常勤監査役 徳本恒徳
 常勤監査役 高桑康典
 社外監査役 花房正義
 社外監査役 清水利光
 社外監査役 森昭治

執行役員

(取締役兼務者を除く)
 (2007年6月28日現在)

常務執行役員 鍋木正
 常務執行役員 大谷勉
 常務執行役員 星野則和
 常務執行役員 森邦弘
 常務執行役員 蛭間恭弘
 常務執行役員 板沢幹雄
 常務執行役員 杉瀬道明
 執行役員 吉野和雄
 執行役員 渡辺尚生
 執行役員 前川耀男
 執行役員 福本学
 執行役員 幡場松彦
 執行役員 秋山裕司
 執行役員 青沼光一
 執行役員 救仁郷豊

株式の状況

資本金の額.....141,844,398,888円 発行済株式総数.....2,810,171,295株
 発行可能株式総数.....6,500,000,000株 総株主数.....165,484人

大株主

(2007年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	163,000	5.80
第一生命保険相互会社	155,962	5.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	130,342	4.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	103,272	3.67
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	70,685	2.52
富国生命保険相互会社	68,504	2.44
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	42,747	1.52
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー-505103	42,665	1.52
東京瓦斯社員持株会	36,717	1.31
株式会社 みずほコーポレート銀行	33,000	1.17

(注) 上記のほか、当社が保有している自己株式97,537千株があります。

所有者別株式分布状況



株価の推移 (東京証券取引所)



株式情報

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当基準日	期末配当 毎年3月31日・中間配当 毎年9月30日
証券コード	9531
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

■株式に関するお問い合わせ先

住所変更、配当金の受け取り、名義書換などの株式に関するお手続きは中央三井信託銀行で承ります。

【電話】0120-78-2031 (フリーダイヤル)

各種お手続き用紙のご請求は下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

【電話】0120-87-2031 (フリーダイヤル)

【URL】http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

●東京ガス通信に関するお問い合わせ

総合企画部IR室 【電話】03-5400-3888

●その他のお問い合わせ

総務部総務グループ 【電話】03-5400-3894

●東京ガスホームページ「IR情報」のご案内

【URL】http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir_j.html



●当社のIR情報は携帯電話からもご覧いただけます。

【URL】<http://www.m-ir.jp/c/9531>



バーコードリーダーで読み込んでください。

アンケートにご協力ください

当社では、株主の皆さまへの情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたく考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、下記URLよりアンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご回答いただきますようお願い申し上げます。なお、今回のアンケートは株式会社アイ・アール ジャパン (IR活動支援会社) が運営するWebアンケート「kvoice」を利用しています。

実施期間:2007年7月31日まで

URL:<http://www.kvoice.jp>

アクセスナンバー:株主さまに郵送済みの冊子をご覧ください。

アンケートに関するお問い合わせ先:inquiry@kvoice.jp